

〔国際会議開催〕

申請者	九州大学キャンパスライフ・健康支援センター 教授 丸山 徹	2205008
国際会議名称	The 2 nd Joint Meeting of ESCHM-ISCH-ISB 2021 FUKUOKA	
開催期間	2020 年 7 月 4 日～7 月 7 日	
開催場所	オンライン開催 (メイン会場：アクロス福岡)	
申請者の役割	会長	

概要：

Joint Meeting of ESCHM-ISCH-ISB は北米・アジア・欧州の持ち回りで 2 年に 1 回開催されており、互いに研究領域に近い欧州臨床血液レオロジー微小循環学会 (ESCHM)、国際臨床血液レオロジー学会 (ISCH)、国際バイオレオロジー学会 (ISB) の共同開催で情報共有と意見交換を行っている。本会議では生体内デバイス (人工弁 (カテーテル搭載型人工弁を含む)、ステント (末梢血管、冠動脈および大動脈用)、脳動脈瘤コイル) や体外循環機器 (人工透析、ECMO など)、血液レオロジー計測の開発・応用・評価に関する発表もあり、産学で目指す血管への負荷と血液への損傷を最小化したデバイスの最新情報を共有できる。今回の国際会議でも血管内治療であるステント・コイル・グラフトと血液流動の関係性に関する基礎、臨床、流体力学的計算科学の研究結果が発表された。近年インペラや左室循環補助装置などの心不全治療用の生体内デバイスがわが国でも使用され顕著な効果が示されているが、生存期間の延長にともない生体内デバイスが凝固因子や血小板に与えるレオロジー負荷による血栓や出血事象が大きな問題となっている。今回の国際会議でこのような現状認識を共有したことにより、「からだに優しい生体内デバイス」の研究・開発・評価の方向性が一段と加速すると考えられる。今回の国際会議はわが国では初めての開催であった。本会議では国内外から理工系や基礎医学・臨床医学の領域の多数のオンライン参加があり、今後の生体内デバイスに関する共同研究や人的交流のシーズも生まれており、学術的意義は極めて大きい会議であった。